

2020 年度 新規巡回展示物制作助成事業

-成果物報告-

1. 宇宙をさわる (2021 年度募集予定)

[企画・制作：明石市立天文科学館]

概要：視覚・聴覚障害者をはじめ、これまで博物館・科学館に足を運ばなかったより多くの方が天文学にふれる機会の提供と、天文学への興味・関心、知識の向上。博物館・科学館へのユニバーサルデザイン(UD)・インクルージョンへの意識向上と推進。UD に関して、巡回展を利用した施設間でのネットワークづくりをおこない、情報を共有・蓄積するとともに、新たな展示物の追加等、発展の可能性も視野に入れる。

構成：(1) 立体展示物 9点

地球儀 (直径 42cm) /月の模型 (直径約 20cm) /火星の模型 (直径約 20cm) /小惑星イトカワ模型 (長径約 7.5cm) /小惑星リュウグウ模型 (直径約 15cm) /太陽系の広がり (ロープ長さ約 cm) /惑星の大きさ比べ (木星で直径約 10cm) /すばる望遠鏡模型 (幅約 30cm×奥約 25cm×高約 25cm)

(2) 立体展示物・解説パネル 16枚 (A4サイズ)

(3) 点図パネル【月、木星、土星】 3枚 (A4サイズ)

(4) その他パネル【挨拶文、エンドロール】 2枚 (A2サイズ)

【画像 1】 立体展示物・地球儀



【画像 2】 立体展示物・太陽系の広がり



ロープ部分

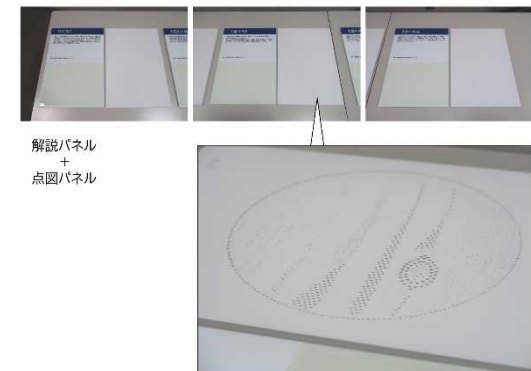
【画像 3】 立体展示物・解説パネル



解説パネル

墨字と点字を併記

【画像 4】 点図パネル



解説パネル
+
点図パネル

2. はやぶさ2×アートで楽しむ展示 (2021年度募集予定)

[企画・制作：半田空の科学館]

概要：はやぶさ2のミッションを遊びながら楽しめる体験型の展示物です。アーティスティックなテイストでまとめた「カワイイ」作品5点で、出発から帰還までの物語を巡ります。感覚から入り好奇心に訴えかけます。科学的な精度の追求ではなく、基本的な情報は踏まえつつも、見た目のインパクトや意外性から興味・関心につながればと考えています。

構成：(1) MISSION1 ロケット3きょうだい

手回し発電機を回して、小さなロケットフィギア（H2A, H2B, イプシロン）を上下に動かして楽しむ展示物

(2) MISSION2 スイングバイ

大きなビニール地球の周りをスイングバイする「はやぶさ2」の軌跡を再現した展示物と、ガウス加速器を使って「はやぶさ2」に見立てたビーズがチューブの中を回る展示物

(3) MISSION3 リュウグウを探せ！

3Dプリンターで制作した、たくさんの小惑星の中からリュウグウを探して遊ぶ展示物

(4) MISSION4 ターゲットマーカー

リュウグウが描かれた大きなバランスボードです。数人で力を合わせてボードを傾けながらターゲットマーカーが落とされた場所に開いた穴にボールを入れて遊ぶ展示物

(5) MISSION5 タッチダウン

天井に引っ掛けたリュウグウ目指して登っていく「はやぶさ2」の、のぼり人形の展示物。2本の紐を交互に引っ張って遊ぶ。

【画像1】ロケット3きょうだい



【画像2】スイングバイ



【画像3】リュウグウを探せ！



【画像4】ターゲットマーカー

